

SPAC 冬の特別公演

『Le Tambour de soie 綾の鼓』『夢と錯乱』

“言葉”と“身体”の関係を探求するアーティストたちの濃密な舞台がここに！

爽秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACは来たる12月、「冬の特別公演」と題し、『Le Tambour de soie 綾の鼓』『夢と錯乱』の2作品を上演いたします。伊藤郁女と笈田ヨシ、宮城聡と美加理——“言葉”と“身体”の関係を探求し続けるアーティストたちの、ひとつの到達点であり新たな挑戦ともいえる濃密な舞台に、どうぞご期待ください。

『Le Tambour de soie 綾の鼓』

国際的に活躍する振付家・舞踊家伊藤郁女とピーター・ブルックと共に創作活動を行ってきた伝説の俳優笈田ヨシが、三島由紀夫の「近代能楽集」の一作「綾の鼓」をもとにして、フランスで創作した“ダンス・シアター”。本作は、2020年10月、「アヴィニオン芸術週間 (UNE SEMAINE D'ART EN AVIGNON)」で世界初演され、大きな話題となった。劇場の舞台を掃除している老人が舞台上でリハーサルをしているダンサーに恋するが、思いが成就しない悲劇を描く。能の曲目「綾鼓」と三島由紀夫の翻案からインスピレーションを受けたジャン＝クロード・カリエールのテキスト(物語)が、才能あふれる二人の日本人アーティストの身体を通して語り始め、矢吹誠の打楽器の音色と混ざり合い、かなわぬ恋の物語を観客に伝える。

演出・振付・出演：伊藤郁女、笈田ヨシ

テキスト：ジャン＝クロード・カリエール(三島由紀夫『綾の鼓』にもとづく) 音楽・出演：矢吹誠

公演日：12月18日(土)・19日(日) ※開演時間未定。決定次第SPAC公式サイトで発表します。

会場：静岡芸術劇場



©Christophe Raynaud de Lage

<神奈川公演>

12月下旬 KAAT神奈川芸術劇場大スタジオ お問い合わせ：チケットかながわ TEL.0570-015-415(10:00~18:00)

プロフィール

伊藤 郁女(いとう・かおり)



©Christophe Raynaud de Lage

東京生まれ。5歳よりクラシックバレエを始め、20歳でニューヨーク州立大学パーチェス大学へ留学後、立教大学で社会学と教育学を専攻。その後、アルビン・エイリー・ダンスシアターにて研修を積む。2003年～05年文化庁新進芸術家海外研修制度研修員。フリップ・ドゥクフレ『Iris』で主役を演じ、舞台『骨と十字架』(演出：小川絵梨子、19年、新国立劇場小劇場)、プレルジョカージュ・バレエ団、ジェイムズ・ティエレなどを経て、09年シディ・ラルビ・シェルカウイ、ギー・カシーエス『眠れる美女』に主演。『Noctilique』以降、創作活動も意欲的に展開。15年から、自らのカンパニーをフランス、スイスを拠点として立ち上げ、『私は言葉を信じないので踊る』、『私を燃やして』、『リアムへ』、『ロボット、私の永遠の愛』森山未来との作品『Is it worth to save us?』、『あなたへ』を発表。15年にSACDより新人優秀振付賞、フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエを受賞。https://www.kaoriito.com/ja/

笈田 ヨシ(おいだ・よし)



©Christophe Raynaud de Lage

俳優。1933年神戸市生まれ。慶応義塾大学で哲学の修士号を取得。国内でテレビ、映画、現代劇で活躍し、三島由紀夫とも仕事をする。68年、ジャン・ルイ・バローに招かれてフランスに渡り、70年、ピーター・ブルックが設立した国際演劇研究センター(CIRT)に参加。その後、ブッフ・デュ・ノール劇場で、『マハーバーラタ』、『テンペスト』、『ザ・マン・フォー』など主要な公演に参加した。75年からは、サミュエル・ベケット『エンドゲーム』、ジャン・ジュネ『レ・ボンズ』、ヴェルディ『ナブッコ』、モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』、ベンジャミン・ブリテン『戦争レクイエム』など、演劇、オペラ、ダンスの演出も手掛ける。主な著書に『俳優漂流』がある。

『夢と錯乱』

夭折の天才詩人トラークルが、死の数カ月前に著した自伝的散文詩「夢と錯乱」。豊かな色彩感覚と音楽性、そしてあまりにも深い憂鬱に満ちたこの詩を、フランス演劇界の巨匠クロード・レジは、最後の演出作として選び、2018年に舞台芸術公園の「楢円堂」で上演。闇と沈黙が織りなす比類ない世界は、私たちを感性の臨界へと連れ去った。伝説の舞台から3年半、そしてレジの死から2年。30年以上にわたって創作活動を共にする宮城聡と美加理が、トラークルの、いや、すべての人間の救いへの希求を漆黒の空間に響かせる、亡きレジへの静かなオマージュ。

演出:宮城聡

作 :ゲオルク・トラークル(中村朝子訳「トラークル全集」より)

出演:美加理

公演日:12月12日(日)・18日(土)・19日(日) ※開演時間未定。決定次第 SPAC 公式サイトで発表します。

会場:舞台芸術公園 屋内ホール「楢円堂」

プロフィール

宮城 聡(みやぎ・さとし)



© 加藤孝

1959年東京生まれ。演出家。SPAC・静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で小田島雄志・渡邊守章・日高八郎各師から演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月 SPAC 芸術総監督に就任。自作の上演と並行して世界各地から現代社会を鋭く切り取った作品を次々と招聘、「世界を見る窓」としての劇場づくりに力を注いでいる。14年7月アヴィニョン演劇祭から招聘された『マハーバーラタ』の成功を受け、17年『アンティゴネ』を同演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演、アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。他の代表作に『王女メディア』『ペール・ギュント』など。04年第3回朝日舞台芸術賞受賞。05年第2回アサヒビール芸術賞受賞。18年平成29年度(第68回)芸術選奨文部科学大臣賞(演劇部門)受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。

美加理 (みかり)



© 加藤孝

東京生まれ。1979年、寺山修司作・演出『青ひげ公の城』でデビュー。80年代小劇場界で活躍後、90年より宮城聡率いるク・ナウカの中心メンバーとして活動。98年、SPACに初参加し、2010年から毎年出演している。“想像力を喚起する身体”“パフォーマーとしての圧倒的な集中力”と評される存在感とパフォーマンスは、国内外で高い評価を得ている。主な出演作は、『天守物語』(富姫)『王女メディア』(メディア)『マハーバーラタ』(ダマヤンティ)『アンティゴネ』(アンティゴネ)など。

クロード・レジ氏とSPACの歩み

『彼方へ 海の讃歌(オード)』

2010年 6月 静岡県舞台芸術公園 屋内ホール「楢円堂」[静岡] * Shizuoka春の芸術祭2010 <日本初演>

『室内』 ※クロード・レジ×SPAC共同制作

2013年 6月 静岡県舞台芸術公園 屋内ホール「楢円堂」[静岡] * ふじのくにせせかい演劇祭2013 <世界初演>

2014年 5月 ウィーン芸術週間 [オーストリア]

5月 クンステン・フェスティバル・デザール [ベルギー]

7月 アヴィニョン演劇祭 [フランス]

9月 フェスティバル・ドートンヌ・ア・パリ [フランス]

2015年 9月 アジア芸術劇場 オープニング・フェスティバル [韓国・光州]

10月 KAAT神奈川芸術劇場 [神奈川]

10月 静岡県舞台芸術公園 屋内ホール「楢円堂」[静岡]

『夢と錯乱』

2018年 4月 静岡県舞台芸術公園 屋内ホール「楢円堂」[静岡]

* ふじのくにせせかい演劇祭2018 <日本初演>



SPAC楢円堂にて(2013) ©三浦真一

ハシゴ観劇 でもっと舞台を楽しもう！

12/12(日)の『夢と錯乱』公演は、SPAC 秋→春のシーズン 2021-2022 #2『桜の園』(14:00 開演/静岡芸術劇場)と、
12/18(土)・19(日)の同公演は『Le Tambour de soie 綾の鼓』とハシゴ観劇ができます。

チケット**[発売日]**

- ◆ SPAC の会会員先行予約受付開始: **11月6日(土)10:00**
- ◆ 一般前売り開始: **11月13日(土)10:00**

[チケット購入方法]**SPAC チケットセンター**

- 電話予約 **054-202-3399** (受付時間 10:00~18:00・休業日 12/7 を除く)
- 窓口販売 静岡芸術劇場チケットカウンター (受付時間 10:00~18:00・休業日 12/7 を除く)
- ウェブ予約 **<https://spac.or.jp/ticket>**

==当日券==

残席がある場合のみ、開演 1 時間前より劇場受付にて販売

※当日券販売の有無を、公演当日に必ずお電話もしくは Twitter(@_SPAC_) で確かめください。

[チケット料金]

※全てのチケット代金は税込価格です。

- 一般: **4,200 円**
- ペア割引: 3,700 円 (2 名様で 1 枚につき)
- グループ割引: 3,300 円 (3 名様以上で 1 枚につき)
※10 名様以上の場合は電話・窓口にてお取り扱い
- ゆうゆう割引: 3,500 円 (満 60 歳以上の方)
※公演当日、受付にて身分証をご提示ください。
- 学生割引: [大学生・専門学校生] 2,000 円 [高校生以下] 1,000 円
※公演当日、受付にて学生証をご提示ください。
- 障がい者割引: 2,900 円 [障害者手帳をお持ちの方]
※公演当日、受付にて障害者手帳をご提示ください。
※付添の方 (1 名様) は無料 ※電話・窓口のみのお取り扱い

- **SPAC の会: 一般: 3,500 円 ペア割引: 3,300 円 (2 名様で 1 枚につき)**

◎割引をご利用の際は、必ずご予約時にお知らせください。各種割引の併用はできません。

◎乳幼児の客席へのご入場はご遠慮ください。

主催: SPAC・静岡県舞台芸術センター

[Le Tambour de soie 綾の鼓]

製作: Masion de la Culture d'Amiens, Company Himé

共同制作: アヴィニョン演劇祭、パリ市立劇場

支援: サン・キャトル・パリ、SPEDIDAM (音楽舞踊実演家権利許諾受領協会)

[夢と錯乱]

製作: SPAC・静岡県舞台芸術センター

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業